

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-245281

(43)Date of publication of application : 30.08.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2001-039939

(71)Applicant : NES QUICK KYOIKU SYSTEMS:KK

(22)Date of filing : 16.02.2001

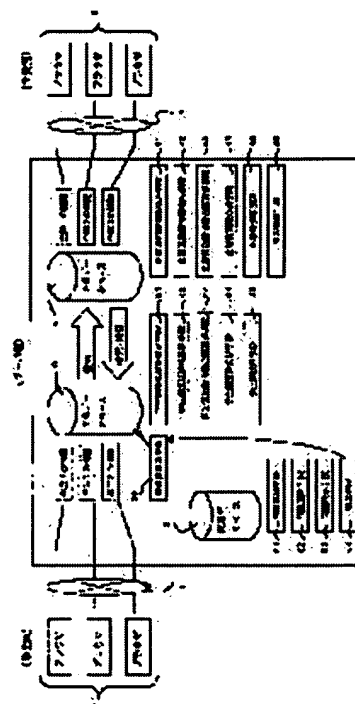
(72)Inventor : KATO MASAHITO  
YASAKA KEIICHI

(54) SUPPORT SYSTEM FOR EMPLOYMENT WORK/ENTRANCE EXAMINATION WORK AND THE LIKE

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To achieve efficiency and save labor in execution of written examinations, in activities of company employment work and school entrance examination work by introducing IT(information technology).

**SOLUTION:** On each dedicated pages related to the student side and the company side opened on the server side, a student database 3 and a company database 4 storing data for each student and each company by taking information inputted via a network 1, and a problem database 5 storing a group of problems of a standard test formed previously on the server side are provided. An information processing means for conducting collation between job-hunting conditions and employment conditions, based on student data and company data via the network 1, as well as management of the student data and the company data is provided. A problem-extracting means 52 for randomly extracting the problems corresponding to examination subjects, a problem display means 53 for displaying the extracted problems on the dedicated page via the network 1, and a marking means 54 for making examinations by collating inputted answers of the student with correct answers in the problem data base 5 are provided.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 15.03.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 19.08.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

**BEST AVAILABLE COPY**

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-245281

(P2002-245281A)

(43) 公開日 平成14年8月30日 (2002.8.30)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	ターミナル* (参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 4	G 0 6 F 17/60	3 1 4
	Z E C		Z E C
	1 5 8		1 5 8
	3 0 2		3 0 2 Z
	3 3 0		3 3 0

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2001-39939 (P2001-39939)

(22) 出願日 平成13年2月16日 (2001.2.16)

(71) 出願人 301007940

株式会社エヌ・イー・エス・クイック教育  
システムズ

東京都新宿区若葉1丁目6番地1

(72) 発明者 加藤 優人

東京都新宿区若葉1丁目6番地1 株式会  
社エヌ・イー・エス・クイック教育システ  
ムズ内

(72) 発明者 家坂 圭一

東京都新宿区若葉1丁目6番地1 株式会  
社エヌ・イー・エス・クイック教育システ  
ムズ内

(74) 代理人 100074251

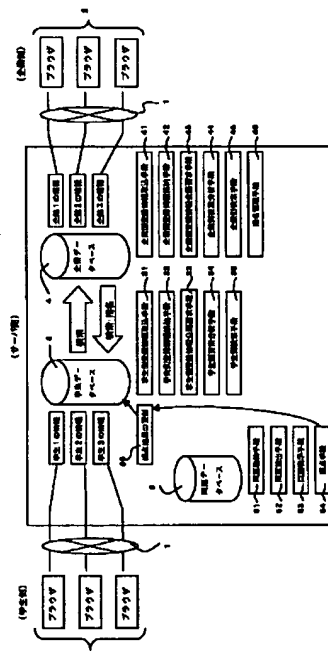
弁理士 原田 寛

(54) 【発明の名称】 就職業務・入試業務等の支援システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 企業の採用業務や学校の入試業務などの活動における筆記試験の実施に I T (情報技術) を導入して効率化、省力化を実現する。

【解決手段】 サーバ側に開設した学生側および企業側に係る個別専用ページにそれぞれがネットワーク1経由で入力した情報を取り込んで各学生・各企業ごとの個別データを格納する学生データベース3、企業データベース4と、サーバ側にて予め作成した標準テストの問題群を格納する問題データベース5とを備え、学生データの管理および企業データの管理と共に、学生データおよび企業データ相互間の就職希望条件・採用条件の照合をネットワーク1経由で行なう情報処理手段を備える。受験科目に対応した問題をランダムに抽出する問題抽出手段52、抽出した問題をネットワーク1を経由して個別専用ページに表示する問題表示手段53、学生の解答と問題データベース5内の正解を照合して得点化する採点手段54を備える。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 サーバ側に開設された被採用希望者および採用者の個別専用ページに被採用希望者および採用者それぞれの情報端末によりネットワーク経由で接続可能とし、被採用希望者によりネットワークを介して入力された情報を取り込んで各被採用希望者ごとの個別データを格納する被採用希望者データベースと、採用者によりネットワークを介して入力された情報を取り込んで各採用者ごとの個別データを格納する採用者データベースと、サーバ側にて予め作成した標準テストの問題群を格納する問題データベースとを備え、被採用希望者データの管理および採用者データの管理と共に、採用者において希望する採用されるための被採用希望者希望条件データと採用者において希望する採用するための採用者採用条件データとの照合をネットワーク経由で行なう情報処理手段を備えたことを特徴とした就職業務・入試業務等の支援システム。

【請求項2】 被採用希望者データベースの情報処理手段は、被採用希望者が入力した情報をネットワークを介してサーバ内に取り入れる被採用希望者側登録情報取込手段と、被採用希望者側登録情報取込手段により取り入れた情報を被採用希望者データベースに格納する被採用希望者側登録情報格納手段と、被採用希望者側の情報端末によるサーバ側へのアクセスにより、採用者データベースに格納された採用者側の登録情報をネットワークを介してサーバ側が被採用希望者側に提供する被採用希望者側登録情報公開要求手段と、被採用希望者データベースに入力されるデータ内容の確認を行う被採用希望者側要素分析手段と、被採用希望者側の情報端末によるサーバ側へのアクセスにより、被採用希望者の志望条件・標準テスト得点に合致している採用者のリストを個別専用ページに表示する被採用希望者側検索手段とを備えた請求項1記載の就職業務・入試業務等の支援システム。

【請求項3】 採用者データベースの情報処理手段は、採用者が入力した情報をネットワークを介してサーバ内に取り入れる採用者側登録情報取込手段と、採用者側登録情報取込手段により取り入れた情報を採用者データベースに格納する採用者側登録情報格納手段と、採用者側の情報端末によるサーバ側へのアクセスにより、被採用希望者データベースに格納された被採用希望者側の登録情報をネットワークを介してサーバ側が採用者側に提供する採用者側登録情報公開要求手段と、採用者データベースに入力されるデータ内容の確認を行う採用者側要素分析手段と、採用者側の情報端末によるサーバ側へのアクセスにより、採用者が希望する採用条件・標準テスト得点に合致している被採用希望者のリストを個別専用ページに表示する採用者側検索手段と、採用者がいずれの被採用希望者を指名するかの情報をサーバ側が管理する指名管理手段とを備えた請求項1または2記載の就職業務・入試業務等の支援システム。

【請求項4】 問題データベースの情報処理手段は、サーバ側にて予め作成された標準テストの問題群を問題データベースに格納する問題格納手段と、ネットワークを経由して被採用希望者が閲覧している個別専用ページ上に希望する受験科目を選択した際に当該受験科目に対応した問題をサーバ側がランダムに抽出する問題抽出手段と、抽出された問題をネットワークを経由して被採用希望者が閲覧している個別専用ページ上に表示する問題表示手段と、被採用希望者の解答と問題データベース内の正解とを照合して正解・不正解を判定し、さらにこれを得点化する採点手段と、採点手段により算出された新得点と被採用希望者データベース内の従前の被採用希望者の旧得点とを照合していずれか一方の得点に更新する採点結果更新手段とを備えた請求項1乃至3のいずれか記載の就職業務・入試業務等の支援システム。

【請求項5】 採点結果更新手段は、採点手段により算出された新得点が旧得点より高ければ、被採用希望者データベース上の被採用希望者の成績が書き替えられ、以後は当該被採用希望者の得点として使用される一方、旧得点が高ければ、被採用希望者データベースには新たな書き込みは行なわれないものとした請求項4記載の就職業務・入試業務等の支援システム。

【請求項6】 採用者側登録情報公開要求手段は、採用者側検索手段による検索に際し、被採用希望者の個人データ以外のテスト成績・希望待遇などのデータだけを採用者側に公開するものとした請求項2乃至5のいずれか記載の就職業務・入試業務等の支援システム。

【請求項7】 採用者側登録情報公開要求手段は、採用者による指名を被採用希望者が受諾した場合に限り、テスト成績・希望待遇など以外の被採用希望者の個人データを採用者側に公開するものとした請求項2乃至5のいずれか記載の就職業務・入試業務等の支援システム。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、企業における人員の採用業務や、大学・短大・高等学校等の教育機関の入試業務などの種々の成績による選抜活動における面接採用の効率化を目的として利用されるもので、特にこのような採用・入試業務の筆記試験の実施においてIT（情報技術）を導入したことに特徴のある就職業務・入試業務等の支援システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、企業で必要とする人員の採用活動の過程は、（A）採用情報の公開、（B）応募の受付（いわゆるエントリー）、（C）企業説明会の実施、（D）筆記試験の実施、（E）面接試験の実施という要素で構成されており、これらの過程を各企業が別個独立に実施している。したがって、企業への採用を求める学生の如き就職希望者は、志望する企業の数だけこれらの手順を踏まなければならないらず、しかも企業の側も、特

に(D)筆記試験の実施において会場手配・問題作成・採点処理などに多大な経費を投入しているのが現状である。こうした現状を解消すべく近年にいたり、ITを利用した採用活動が実施されるようになってきた。具体的に言えば、(A)採用情報の公開や、(B)応募の受付は、企業独自の、あるいはこれを専業とするホームページにおいてなされるようになってきていることである。【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、採用活動の過程の(C)以降においては、従前の通り、実施日時を個別に告知し、会場を手配し、人員を配置し、という手順で行われており、IT自体は採用活動の一部にしか利用されていない。特に(D)筆記試験の実施に関しては、事前に日程も出題内容も公開されないまま、「抜き打ち」的に実施されているのが実情である。このことは、就職希望者には運次第・不公平の印象を与えており、それ故、企業側も試験結果が就職希望者の本来の実力を反映したものとして信頼することができず、結局、学歴等の実力以外の各要素に頼って選抜しているのが実情である。

【0004】そこで本発明は叙上のような従来存した諸事情に鑑み創出されたもので、企業における人員の採用業務や大学・短大・高等学校等の教育機関の入試業務など、多数の志願者が多数の志願先に応募する局面において、標準化された共通テストを実施し、このテストの成績に加えて企業等の採用者側の条件との照合を基準として選抜・面接指名することにより、就職業務・入試業務等の効率化および省力化を実現可能にする就職業務・入試業務等の支援システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上述した課題を解決するため、本発明にあっては、サーバ側に開設された例えば就職希望者、入学希望者等の被採用希望者および例えば人員を雇用する企業、大学その他の入試選抜する教育機関等の採用者の個別専用ページに被採用希望者および採用者それぞれの情報端末によりネットワーク1経由で接続可能とし、被採用希望者によりネットワーク1を介して入力された情報を取り込んで各被採用希望者ごとの個別データを格納する被採用希望者データベース3と、採用者によりネットワーク1を介して入力された情報を取り込んで各採用者ごとの個別データを格納する採用者データベース4と、サーバ側にて予め作成した標準テストの問題群を格納する問題データベース5とを備え、被採用希望者データの管理および採用者データの管理と共に、被採用希望者において希望する採用されるための被採用希望者希望条件データと採用者において希望する採用するための採用者採用条件データとの照合をネットワーク1経由で行なう情報処理手段を備えたものである。被採用希望者データベース3の情報処理手段は、被採用希望者が入力した情報をネットワーク1を介してサーバ

内に取り入れる被採用希望者側登録情報取込手段31と、被採用希望者側登録情報取込手段31により取り入れた情報を被採用希望者データベース3に格納する被採用希望者側登録情報格納手段32と、被採用希望者側の情報端末によるサーバ側へのアクセスにより、採用者データベース4に格納された採用者側の登録情報をネットワーク1を介してサーバ側が被採用希望者側に提供する被採用希望者側登録情報公開要求手段33と、被採用希望者データベース3に入力されるデータ内容の確認を行う被採用希望者側要素分析手段34と、採用者側の情報端末によるサーバ側へのアクセスにより、被採用希望者の志望条件・標準テスト得点に合致している採用者のリストを個別専用ページに表示する被採用希望者側検索手段35とを備えたものとする。採用者データベース4の情報処理手段は、採用者が入力した情報をネットワーク1を介してサーバ内に取り入れる採用者側登録情報取込手段41と、採用者側登録情報取込手段41により取り入れた情報を採用者データベース4に格納する採用者側登録情報格納手段42と、採用者側の情報端末によるサーバ側へのアクセスにより、被採用希望者データベース3に格納された被採用希望者側の登録情報をネットワーク1を介してサーバ側が採用者側に提供する採用者側登録情報公開要求手段43と、採用者データベース4に入力されるデータ内容の確認を行う採用者側要素分析手段44と、採用者側の情報端末によるサーバ側へのアクセスにより、採用者が希望する採用条件・標準テスト得点に合致している被採用希望者のリストを個別専用ページに表示する採用者側検索手段45と、採用者がいずれの被採用希望者を指名するかをサーバ側が管理する指名管理手段46とを備えたものとする。問題データベース5の情報処理手段は、サーバ側にて予め作成された標準テストの問題群を問題データベース5に格納する問題格納手段51と、ネットワーク1を経由して被採用希望者が閲覧している個別専用ページ上に被採用希望者が希望する受験科目を選択した際に当該受験科目に対応した問題をサーバ側がランダムに抽出する問題抽出手段52と、抽出された問題をネットワーク1を経由して被採用希望者が閲覧している個別専用ページ上に表示する問題表示手段53と、被採用希望者の解答と問題データベース5内の正解とを照合して正解・不正解を判定し、さらにこれを得点化する採点手段54と、採点手段54により算出された新得点と被採用希望者データベース3内の従前の被採用希望者の旧得点とを照合していずれか一方の得点に更新する採点結果更新手段55とを備えたものとする。採点結果更新手段55は、採点手段54により算出された新得点が旧得点より高ければ、被採用希望者データベース3上の被採用希望者の成績が書き替えられ、以後は当該被採用希望者の得点として使用される一方、旧得点が高ければ、被採用希望者データベース3には

新たな書き込みは行なわれないものとする。採用者側登録情報公開要求手段43は、採用者側検索手段45による検索に際し、被採用希望者の個人データ以外のテスト成績・希望待遇などのデータだけを採用者側に公開するものとできる。採用者側登録情報公開要求手段43は、採用者による指名を被採用希望者が受諾した場合に限り、テスト成績・希望待遇など以外の被採用希望者の個人データを採用者側に公開するものとできる。

【0006】以上のように構成された本発明に係る就職業務・入試業務等の支援システムにあっては、被採用希望者データベース3、採用者データベース4は、学生の如き就職希望者、受験生の如き入学希望者等の被採用希望者側、および人員を雇用する企業、入試選抜する教育機関等の採用者側によりネットワーク1を介して入力された個別専用ページ画面の情報を取り込んで各被採用希望者・各採用者ごとに個別のデータとして格納させる。被採用希望者側データベース3、採用者側データベース4、および予め作成した標準テストの問題群を格納した問題データベース5の情報処理手段は、被採用希望者データの管理および採用者データの管理と共に、被採用希望者希望条件データと採用者採用条件データとの照合をネットワーク1経由で行なわせ、採用者の採用業務や、大学・短大・高等学校等の教育機関の入試業務などの種々の活動における面接前の筆記試験の実施による選抜にITの導入を可能にさせる。問題データベース5に格納されたデータを処理するために構成された問題格納手段51、問題抽出手段52、問題表示手段53、採点手段54、採点結果更新手段55のそれぞれから成る情報処理手段は、各被採用希望者・各採用者から中立の立場にある試験実施機関であるサーバ側が作成・管理する標準化された共通テストを各被採用希望者・各採用者が採用への指標としての各種データの共有を可能にさせ、しかも、この標準化された共通テストは、オンデマンド式に被採用希望者側に対し随時・複数回受験を可能にさせる。採点結果更新手段55は、採用者側に対し被採用希望者の科目ごとの最高得点のみの提示を可能にさせる。また検索手段45は、予め登録した採用者が要求する得点レベルを達成した被採用希望者のみを検索（選抜）させ、指名管理手段46は、採用条件に合致する面接対象者のみを指名させる。個人データ以外のテスト成績・希望待遇などのデータだけを採用者側に公開するものとした被採用希望者側登録情報公開要求手段33は、採用者側検索手段45による検索に際し、被採用希望者の個人のプライバシーを保護させ、被採用希望者側に対する不利益を解消させる。しかも、採用者側では客観データによる被採用希望者選抜を促進させる。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の一実施の形態を説明する。本実施の形態に係る就職業務・

入試業務等の支援システム（以下に本システムと称す）は、図1に示すように、本システムを運用するサーバ側に、就職希望者・入学希望者たる被採用希望者である例えば学生・受験生等、および採用者である例えば企業・大学等に係る個別専用ページを開設し、学生側および企業側それぞれの情報端末によりネットワーク1経由でこの個別専用ページに接続可能としてある。そして、本システムのサーバ内には、例えばOracleなどのRDB形式を有し、Java、CGI、Perlなどの言語で個別専用ページ画面の情報を取り込んで、被採用希望者である各学生ごとに個別のデータとして格納する被採用希望者データベースであるところの学生データベース3と、採用者である各企業ごとに個別のデータとして格納する採用者データベースであるところの企業データベース4と、サーバ側にて予め作成した標準テストの問題群を格納する問題データベース5とを備えている。また、就職・入学希望者データの管理、採用者データの管理、就職・入学希望者データおよび採用者データ相互間の照合をネットワーク1経由で行なうための後述する各種の情報処理手段を備えた例えば就職採用支援センター等に設置されたサーバ側のコンピュータによって構成されている。

【0008】尚、本実施の形態における入力方法は、それぞれブラウザ2をインターフェイスとしてインターネット等のネットワーク1経由で行うものとする。具体的には、ネットワーク1上に例えばダイヤルアップIPを介して接続され、内部的には本システムのサーバが提供する個別専用ページにアクセス可能なWWWブラウザが搭載され、本システムから提供される例えばHTML、SGML、XML、HPML等の電子文書用ワークアップのプログラム言語に従って記述した個別専用ページ画面上の就職採用情報等を閲覧可能な一般的な情報端末であるところのパーソナルコンピュータによって前記サーバ側のコンピュータにアクセスするようになっている。

【0009】学生データベース3の情報処理手段としては、サーバ側が提供する個別専用ページ上に設定されている入力フォームに基づき学生自身が入力した情報を本システム内に取り入れるための学生側登録情報取込手段31と、学生側登録情報取込手段31により取り入れた情報を学生データベース3に格納するための学生側登録情報格納手段32を備えている。そして、学生側の情報端末から個別専用ページにアクセスすることにより、本システムの企業データベース4に格納された企業側の登録情報をサーバ側が学生側に提供するための学生側登録情報公開要求手段33と、学生データベース3に入力されるデータ内容の確認をサーバ側で行う学生側要素分析手段34と、学生側の情報端末から個別専用ページにアクセスすることにより、就職・入学希望者の志望条件・標準テスト得点に合致している採用者のリストを学生側

の個別専用ページにサーバ側が表示するための学生側検索手段35とを備えている。

【0010】企業データベース4の情報処理手段としては、サーバ側が提供する個別専用ページに設定されている入力フォームに基づき企業自身から入力した情報を本システム内に取り入れるための企業側登録情報取込手段41と、企業側登録情報取込手段41により取り入れた情報を企業データベース4に格納するための企業側登録情報格納手段42とを備えている。そして、企業側の情報端末から個別専用ページにアクセスすることにより、本システムの学生データベース3に格納された学生側の登録情報をサーバ側が企業側に提供するための企業側登録情報公開要求手段43と、企業データベース4に入力されるデータ内容の確認を行う企業側要素分析手段44と、企業側の情報端末から個別専用ページにアクセスすることにより、就職・入学希望者の志望条件・標準テスト得点に合致している就職・入学希望者のリストを企業側の個別専用ページにサーバ側が表示するための企業側検索手段45と、各企業側がいずれの学生を指名するかの情報をサーバ側が管理するための指名管理手段46とを備えている。この企業側検索手段45および指名管理手段46により、企業側は、採用条件を充足する学生を本システムから抽出して効率的に面接対応が行えるようにしてある。

【0011】問題データベース5の情報処理手段としては、図4に示すように、本システムを運用するサーバ側にて予め作成された標準テストの問題群を問題データベース5に格納するための問題格納手段51と、ネットワーク1を経由して閲覧している個別専用ページ上で学生が希望する受験科目を選択した際に、当該受験科目に対応した問題をサーバ側にてランダムに抽出するための問題抽出手段52と、抽出された問題をネットワーク1を経由して学生が閲覧している個別専用ページ上に表示するための問題表示手段53を備えている。そして、学生の解答と問題データベース5内の正解とを照合して正解・不正解を判定し、さらにこれを得点化する採点手段54と、採点手段54により算出された新得点と学生データベース3内の従前の旧得点とを照合していずれか一方の得点、例えば高得点の方に更新して以降は学生の得点としてこれを本システム内で採用するための採点結果更新手段55とを備えている。このように学生側は常時テストを受けても採点結果更新手段55により自己の最高得点を採用可能にしておけるように何度も更新できるようにしてある。

【0012】次に本システムへの登録時の処理手順について図3に示すフローチャートに基づき説明する。尚、学生登録および企業登録の処理は図3に示す同一のフローチャートによる処理経路に基づいて実行されるものとする。まず本システムの利用を開始するに際し、学生・企業双方は、本システムの利用開始時に図2に示すよう

な学生・企業の項目を登録するものとする。まず、具体的な学生側の登録項目としては、個人の特定・自己アピールとして例えば氏名・性別・Eメールアドレス・生年月日・電話番号（携帯電話番号）・個人ホームページURL・ID・パスワード・取得している資格や語学・自己アピール等、志望先として例えば職種・希望勤務地・希望最低給与・希望企業規模等、学歴として学校名・学部・学科等が挙げられる。また、具体的な企業側の登録項目としては、企業の特定・アピールとして例えば会社名・会社種別・Eメールアドレス・設立年月日・電話番号・企業ホームページURL・ID・パスワード・優遇している資格や語学・企業アピール等、募集内容として例えば職種・勤務地・最低給与・企業規模等、テスト要求得点として各科目に応じた要求点数等が挙げられる。これらは、学生個人・企業を特定するデータとなるとともに、学生が企業を、また逆に企業が学生を検索する場合に必要な項目となる。

【0013】登録後、本システムを運営するサーバ側からID・パスワード等が学生・企業に発行され、サーバ側のコンピュータには学生の登録したデータが学生データベース3に、企業の登録したデータが企業データベース4にそれぞれ格納される。このときの入力方法は、それぞれブラウザ2をインターフェイスとしてインターネット等のネットワーク1経由で行うものとする。必要な各要素の登録が完了すると、各自のIDおよびパスワードが利用可能となり、以降は当該IDおよびパスワードを入力するだけで、本システムの利用が可能になる。また、登録の完了により本システム内に個別専用ページが開設され、以降はこの個別専用ページから学生側はテスト受験・情報検索等を行い、企業側では情報検索・学生の指名等を行うことになる。

【0014】学生登録の場合、まず、ブラウザ2からネットワーク1を経由して、本システムの個別専用ページに接続する。このとき学生側によるアクセスが初めてであるか否かを判断し（ステップ：S1）、初めてである場合には学生側の必要な項目を登録するか否かを判断する（ステップ：S2）。学生が必要項目を登録した場合には、本システムを運営するサーバ側からID・パスワード等が学生側に発行される。一方、初めてでなく過去においてアクセス経験があり、ID・パスワード等が本システムに既に登録されている場合には、このID・パスワードを学生側自身がブラウザ2に入力し（ステップ：S8）、本システム側にてID・パスワードが正規のものであるか否かを認証させる（ステップ：S9）。ID・パスワードが正規のものであると判断した場合には、個別専用ページをブラウザ2に表示させる（ステップ：S10）。一方、ID・パスワードが誤っているかあるいは不正のものであると判断した場合には、ステップ：S8に戻って新たなID・パスワードの入力可能な状態で待機する。

【0015】ステップ：S2において学生側が自己の項目の登録を希望するものと判断したときにはブラウザ2に要素入力フォームを表示させる（ステップ：S3）。一方、学生側が自己の項目を登録しないものと判断したときにはステップ：S1に戻り、アクセスが始めてであるか否かを判断する。ステップ：S3において学生側が要素入力フォームから入力した情報、すなわち図2中の左欄に示した各要素は、学生側登録情報取手段31により本システムに取り入れられ、学生側要素分析手段34により入力内容が充分であるか不十分であるかの確認が行なわれた後（ステップ：S4）、充分であると判断されれば学生側登録情報格納手段32により学生データベース3に格納される（ステップ：S5）。この登録のプロセスを踏むことにより、学生が入力したID・パスワードが本システム内で有効となる（ステップ：S6）。したがって、以降はこのID・パスワードを入力するだけで、登録したデータを利用することが可能になる。また、登録の完了により、本システム内に個別専用ページが開設され（ステップ：S7）、以降はこの個別専用ページをブラウザ2に表示し、ここから学生側はテスト受験・情報検索等を行うことになる。

【0016】一方、企業登録の場合、まず、ブラウザ2からネットワーク1を経由して本システムの個別専用ページに接続する。このとき企業側によるアクセスが初めてであるか否かを判断し（ステップ：S1）、初めてである場合には企業側の必要な項目を登録するか否かを判断する（ステップ：S2）。企業が必要項目を登録した場合には、本システムを運営するサーバ側からID・パスワード等が企業側に発行される。一方、初めてでなく過去においてアクセス経験があり、ID・パスワード等が本システムに既に登録されている場合には、このID・パスワードを企業側自身がブラウザ2に入力し（ステップ：S8）、本システム側にてID・パスワードが正規のものであるか否かを認証させる（ステップ：S9）。ID・パスワードが正規のものであると判断した場合には、個別専用ページをブラウザ2に表示させる（ステップ：S10）。一方、ID・パスワードが誤っているかあるいは不正のものであると判断した場合には、ステップ：S8に戻って新たなID・パスワードの入力可能な状態で待機する。

【0017】ステップ：S2において企業側が自己の項目の登録を希望するものと判断したときにはブラウザ2に要素入力フォームを表示させる（ステップ：S3）。一方、企業側が自己の項目を登録しないものと判断したときにはステップ：S1に戻り、アクセスが始めてであるか否かを判断する。ステップ：S3において企業側が要素入力フォームから入力した情報、すなわち図2中の右欄に示した各要素は、企業側登録情報取手段41により本システムに取り入れられ、企業側要素分析手段44により入力内容が充分であるか不十分であるかの確認

が行なわれた後（ステップ：S4）、充分であると判断されれば企業側登録情報格納手段42により企業データベース4に格納される（ステップ：S5）。この登録のプロセスを踏むことにより、企業が入力したID・パスワードが本システム内で有効となる（ステップ：S6）。したがって、以降はこのID・パスワードを入力するだけで、登録したデータを利用することが可能になる。また、登録の完了により、本システム内に個別専用ページが開設され（ステップ：S7）、以降はこの個別専用ページをブラウザ2に表示し、ここから企業側は情報検索・学生の指名等を行うことになる。

【0018】次に標準テストの実施と成績の処理手順につき、図5に示すフローチャートに基づき説明する。まず標準テストの実施と成績の処理の概要について説明する。本システムにおいては、オンラインテストという形態からカンニングにより好成績を得るという弊害を解消するために、例えば試験時間を意図的に短時間に限定することが考慮されている。例えばテスト実施の際に、解答に対して最小必要限の制限時間が経過すればネットワーク1を介しての個別専用ページでの学生による解答入力をサーバ側で拒否または停止することで、カンニングする余裕を与えないようにすればこのような弊害を防止することを容易に達成することができる。このような条件であれば学生は標準テストをオンデマンド式に随時何度でも受験することができ、これにより一発勝負の成果ではなく、努力した結果を評価する基盤ができる一方、企業側はあらかじめ科目ごとに学生に要求する得点を指定することもでき、しかも学生側は志望企業の要求水準に到達するまで受験を続けることができる。テストの出題内容は、本システム側によって作成された大量の問題の中からサーバ側にて重複せずにランダムに抽出して出題する方法による。したがって、「運よく同一の問題が出題され、実力以上の高得点を獲得する」などといった従来の紙ベースで実施されていた筆記試験の弊害は起こらないものとなり、常に公平・平等な出題がなされ、実力のみが評価されることになる。

【0019】標準テストは本システムのサーバ側にてあらかじめ作成されており、本システム内の問題格納手段51により問題データベース5に格納された問題群から出題される。出題される問題は、学生が受験する科目を選択（ステップ：S11）した瞬間に問題抽出手段52によってランダムに抽出され、問題表示手段53によりネットワーク1を経由して学生が閲覧している学生側の個別専用ページ上に表示される（ステップ：S12）。また、問題表示手段53に内包されるプログラムに基づいて試験時間の管理がサーバ側で行われている。

【0020】学生は個別専用ページ上で抽出出題された問題を閲覧し、例えば所定の選択肢の中から自らが正解肢と考えるものを選択する。選択が確定した後、個別専用ページ上に表示されている「問題解答」ボタンをクリ



ックすることにより解答はネットワーク1を通じてサーバ内の問題データベース5に送信される(ステップ:S13)。一方、サーバ側では、採点手段54により、学生の解答と問題データベース5内の正解とを照合して正解・不正解を判定し、さらにこれを得点化する(ステップ:S14)。

【0021】次に成績更新の手順について説明する。採点手段54により算出された新得点は、採点結果更新手段55により、学生データベース3内の従前の学生の旧得点と照合される。このとき、保存された従前の得点より新得点が高得点であるか低得点であるかの判断を行ない(ステップ:S15)、新得点が旧得点より高ければ学生データベース3上の学生の成績が書き替えられ、以降はこれが当該学生の得点として本システム内で使用される(ステップ:S16)。逆に、旧得点为新得点より高ければ、学生データベース3には新たな書き込みはなされずにこのまま旧得点が当該学生の得点として本システム内で使用される。

【0022】次に学生・企業相互の検索処理の概要について説明する。学生は自分の企業選択基準に合致する企業、または、自分の標準テストの得点で面接受験可能な企業を学生側登録情報公開要求手段33によって検索することができる。検索した結果は一覧表の形式で学生側の個別専用ページに表示され、かつ表示結果が学生データベース3に保存される。また、企業も自社の業種・自社が募集している職種に応募し、自社が要求する標準テストの得点水準に到達している学生を企業側登録情報公開要求手段43によって検索することができる。検索した結果は一覧表の形式で企業側の個別専用ページに表示され、かつ表示結果が企業データベース4に保存される。

【0023】学生による企業の検索の際に、学生はネットワーク1を経由して、自分の情報端末のブラウザ2を介し、学生データベース3から生成される個別専用ページに接続する。それ以前の検索と条件を変えずに検索するのであれば、個別専用ページ上に表示されている例えば「企業情報検索」部分をクリックするだけで、学生側検索手段35が機能し、自己の志望条件・標準テスト得点に合致している企業のリストが個別専用ページに表示される。それ以前と検索条件を変更する場合には、個別専用ページ上で条件設定して学生データベース3内の自分の情報を更新した上で検索することになる。

【0024】一方、企業による学生の検索の際に、企業はネットワーク1を経由して、自分の情報端末のブラウザ2を介し、企業データベース4から生成される個別専用ページに接続する。それ以前の検索と条件を変えずに検索するのであれば、個別専用ページ上に表示されている例えば「学生情報検索」部分をクリックするだけで、企業側検索手段45が機能し、自己の志望条件・標準テスト得点に合致している学生のリストが個別専用ページ

に表示される。それ以前と検索条件を変更する場合には、個別専用ページ上で条件設定して企業データベース4内の情報を更新した上で検索することになる。この企業による検索に際し、企業側に公開される学生の情報は、テスト成績・希望待遇などのデータのみであり、氏名・住所・電話番号・学校名などの個人を特定するデータは公開されず、例えばこれらの個人データは企業による指名を学生が受諾した場合にのみ企業側登録情報公開要求手段43によってサーバ側から企業側に公開される。これは学生のプライバシーを保護する手段であるとともに、企業側に客観データによる学生選抜を促すための手段でもある。

【0025】次に企業による面接・採用を希望する学生に対する指名の処理手順につき図6の説明図と、図7のフローチャートとに基づき説明する。図6に示すように、企業側は検索システムによる個別専用ページ上の検索結果に表示された学生の中から選抜し、自己の採用基準に合致する学生群を指名して面接へと勧誘することができる。すなわち、学生データベース3で検索した学生群の全て、あるいはさらに条件を加えて絞り込んだ学生群を選択し、個別専用ページ上に表示されている1名または複数名の学生の中から選抜して例えばその氏名部分をクリックして学生を指名する(図6におけるa参照)。その指名の通知は、サーバ側を介して指名された学生にのみ通知され(図6におけるb参照)、指名された学生はその諾否を回答する(図6におけるc参照)。指名された学生が受諾する場合(図6におけるc-1参照)にはサーバ側がその学生側の個人データを企業側に通知提供し(図6におけるd-1参照)、逆に拒否する場合(図6におけるc-2参照)には拒否の旨の通知を企業側に通知する(図6におけるd-2参照)。このように、各企業側がいずれの学生を指名するかの情報、および学生側の諾否の情報がインターネット1を経由して本システムのサーバ側を介して送受信される。以上の過程は全てサーバ側の指名管理手段46によりコントロールされている。なお学生の具体的な氏名は、指名された学生が面接を承諾するまでは公開されないものとなっており、承諾後に企業に通知される。

【0026】すなわち図7に示すように、本システムは指名管理手段46により企業側からの「学生指名」データを受け(ステップ:S21)、学生データベース3から、指名された学生のメールアドレス等の連絡情報を取り出し、学生側に向けて指名を受諾するか拒否するかを問う情報を電子メール等によりインターネット1を経由して送信する(ステップ:S22)。学生側は、企業側の業務内容・待遇などを確認した上で、指名を受諾するか拒否するかを決定し(ステップ:S23)、その決定情報を本システムに対し電子メール等によりインターネット1を経由して返信する。学生側が企業側からの指名を受諾する場合、本システムは企業に対し、氏名・住所

・電話番号・Eメールアドレス・学校名などの学生の個人データを通知する(ステップ:S24)。以降は本システムの処理とは別の学生と企業との直接の折衝により、面接日時・場所等を決定する(ステップ:S25)。逆に、ステップ:S23において学生側が企業側からの指名を拒否する場合には、本システムは企業側に対し拒否の旨の通知をする(ステップ:S26)。このとき学生側の個人データは企業に公開されない。したがって、指名を拒否したとしても、学生側には何らの不利益は生ぜず、その後の就職活動を継続することができる。

【0027】尚、本実施の形態においては、本システムを学生に対する企業の就職・採用業務の運用のための支援システムとして採用しているが、これに限らず、例えば一般社会人たる転職者・失業者等に対する企業の就職・採用業務の運用のための支援システムとして採用したり、あるいは大学・短大・高等学校等の各教育機関の入学試験業務の運用のための支援システム等として採用することもできる。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、企業における人員の採用業務や大学・短大・高等学校等の教育機関の入試業務など、多数の志願者が多数の志願先に応募する局面において、標準化された共通テストを実施し、このテストの成績に加えて就職希望条件・採用条件の照合を基準として採用者である企業、教育機関等側は被採用希望者である学生、受験生等を選抜指名することにより面接を効率的に行うことができ、就職業務・入試業務等の効率化および省力化を実現可能にする。

【0029】すなわちこれは本発明において、サーバ側に開設された被採用希望者および採用者の個別専用ページにネットワーク1経由で接続し、被採用希望者によりネットワーク1を介して入力された情報を取り込んで各被採用希望者ごとの個別データを格納する被採用希望者データベース3と、採用者によりネットワーク1を介して入力された情報を取り込んで各採用者ごとの個別データを格納する採用者データベース4と、サーバ側にて予め作成した標準テストの問題群を格納する問題データベース5とを備え、被採用希望者データの管理および採用者データの管理と共に、被採用希望者において希望する採用されるための被採用希望者希望条件データと採用者において希望する採用するための採用者採用条件データとの照合をネットワーク1経由で行なう情報処理手段を備えたからである。

【0030】このようにITを駆使した企業における人員の採用業務や、大学・短大・高等学校等の教育機関の入試業務などの種々の活動における筆記試験の実施において、面接採用者の選抜化が可能となり、就職業務・入試業務等の運営の効率化および省力化を実現可能にした支援システムを容易に構築することができる。

【0031】より具体的に言えば、各学生・各企業から中立の立場にある試験実施機関を設置し、この機関が作成・管理する標準化された共通テストを各学生・各企業が採用への指標として共有することができ、しかもこの標準化された共通テストは、学生側が随時・複数回受験できるものである。一方、企業側には学生の科目ごとの最高得点のみを提示させることができ、しかも企業側は予め登録した企業が要求する得点レベルを達成した学生のみを検索(選抜)し、その学生を自社の面接対象者として指名することができる。また、標準化された共通テスト自体が随時・複数回受験可能な試験である以上、その成績は学生自らがコントロールできるものであり、その責任を他に帰することはできないので、それ故この標準化された共通テストを利用することにより、学生側は従来の抜き打ち式の試験が与えていた不公平感を払拭することができる。他方、企業側にしても、随時・複数回受験可能な試験の成績は、学歴等のデータ以上に信頼できるものとして利用することができる。さらに、面接すべき学生を予め試験実施機関側で選抜することで、面接に長時間を配分し、企業の採用の究極の理念である「人物本位の採用」という目的達成に一層注力することができる。

【0032】被採用希望者データベース3の情報処理手段は、被採用希望者側登録情報取手段31、被採用希望者側登録情報格納手段32、被採用希望者側登録情報公開要求手段33、被採用希望者側要素分析手段34、被採用希望者側検索手段35とを備えたので、被採用希望者側に関する情報の管理・処理業務、および採用者側に関する情報の検索・公開等の効率化および省力化を実現可能にした就職業務・入試業務等の支援システムを容易に構築することができる。

【0033】採用者データベース4の情報処理手段は、採用者側登録情報取手段41、採用者側登録情報格納手段42、採用者側登録情報公開要求手段43、採用者側要素分析手段44と、採用者側検索手段45、指名管理手段46とを備えたので、採用者側に関する情報の管理・処理業務、および被採用希望者側に関する情報の検索・公開等の効率化および省力化を実現可能にした就職業務・入試業務等の支援システムを容易に構築することができる。特に、サーバ側の指名管理手段46により各採用者がいずれの被採用希望者を指名するかの情報を管理しているため、採用者側は採用条件を充足する被採用希望者をネットワーク1を経由してサーバ側から容易に抽出、選別することができ、以後の面接対応を効率的に行うことができる。

【0034】問題データベース5の情報処理手段は、サーバ側にて予め作成された標準テストの問題群を問題データベース5に格納する問題格納手段51と、被採用希望者が希望する受験科目を選択した際に当該受験科目に対応した問題をサーバ側によりランダムに抽出する問題

抽出手段52と、抽出された問題をネットワーク1を経由して被採用希望者が閲覧している個別専用ページ上に表示する問題表示手段53と、被採用希望者の解答と問題データベース5内の正解とを照合して正解・不正解を判定し、さらにこれを得点化する採点手段54と、採点手段54により算出された新得点と、被採用希望者データベース3内の従前の被採用希望者の旧得点とを照合し、いずれか一方の得点に更新する採点結果更新手段55とを備えたので、各被採用希望者・各採用者から中立の立場にある試験実施機関が作成・管理する標準化された共通テストを各被採用希望者・各採用者が採用への指標として共有することができ、総じて就職業務・入試業務等の運営に対する効率化および省力化を実現可能にする。

【0035】採点結果更新手段55は、採点手段54により算出された新得点が旧得点より高ければ、被採用希望者データベース3上の被採用希望者の成績が書き替えられ、以後は当該被採用希望者の得点として使用される一方、旧得点が高ければ、被採用希望者データベース3には新たな書き込みは行なわれないものとしたので、採用者側には被採用希望者の科目ごとの最高得点のみを提示させることができ、しかも被採用希望者側は常時テストを受けて自己の最高得点を表示しておけるように何度も更新できる。また、採用者側は予め登録した採用者側自身が要求する得点レベルを達成した被採用希望者のみを検索（選抜）し、その被採用希望者を自社の面接対象として容易に指名することができ、採用者側は面接採用条件を充足する被採用希望者をサーバ側から抽出して効率的に面接を行うことができる。

【0036】採用者側登録情報公開要求手段43は、採用者側検索手段45による検索に際し、被採用希望者の個人データ以外のテスト成績・希望待遇などのデータだけを採用者側に公開するものとしたので、被採用希望者のプライバシーを保護することができ、しかも採用者側には客観データによる被採用希望者選抜を促すことができる。

【0037】採用者側登録情報公開要求手段43は、採用者による指名を被採用希望者が受諾した場合に限り、テスト成績・希望待遇など以外の被採用希望者の個人デ

ータを採用者側に公開するものとしたので、採用者側により指名された被採用希望者の面接日時・場所・採用の可否等の通知に関する処理手続等をネットワーク1上で容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の一形態におけるシステム全体の概要を示すブロック図である。

【図2】同じく学生・企業の登録項目を表形式として示す説明図である。

10 【図3】同じく登録時の処理手順を説明するフローチャートである。

【図4】同じく出題・解答・データベース更新の処理の説明図である。

【図5】同じくテスト受験・成績処理の処理手順を説明するフローチャートである。

【図6】同じく企業による学生指名の処理の説明図である。

【図7】同じく企業による学生指名の処理手順を説明するフローチャートである。

20 【符号の説明】

1…ネットワーク	2…ブラウザ
3…学生データベース	4…企業データベース
5…問題データベース	
31…学生側登録情報取込手段	32…学生側登録情報格納手段
33…学生側登録情報公開要求手段	34…学生側要素分析手段
35…学生側検索手段	
41…企業側登録情報取込手段	42…企業側登録情報格納手段
43…企業側登録情報公開要求手段	44…企業側要素分析手段
45…企業側検索手段	46…指名管理手段
51…問題格納手段	52…問題抽出手段
53…問題表示手段	54…採点手段
55…採点結果更新手段	

Figure 1 is a block diagram illustrating the system architecture, divided into two main sections: (学生側) Student Side and (企業側) Company Side.

**(学生側) Student Side (1):**

- Three browsers (ブラウザ) are connected to a central processing unit.
- A problem database (問題データベース) is connected to the central unit.
- Five functional blocks are shown:
  - 問題入力手段 (Problem Input Means) 51
  - 問題抽出手段 (Problem Extraction Means) 52
  - 問題表示手段 (Problem Display Means) 53
  - 採点手段 (Scoring Means) 54
  - 採点結果の表示 (Display of Scoring Results) 55

**(企業側) Company Side (2):**

- Three browsers (ブラウザ) are connected to a central processing unit.
- A company database (企業データベース) is connected to the central unit.
- Five functional blocks are shown:
  - 企業側登録情報取込手段 (Company Side Registration Information Input Means) 31
  - 企業側登録情報格納手段 (Company Side Registration Information Storage Means) 32
  - 企業側登録情報公開要求手段 (Company Side Registration Information Public Request Means) 33
  - 企業側要素分析手段 (Company Side Element Analysis Means) 34
  - 企業側検索手段 (Company Side Search Means) 35

**Search and Result Flow:**

- A search process (検索) is indicated by a large arrow pointing from the company side to the student side.
- The result of the search is labeled as 結果・指名 (Result/Designation).

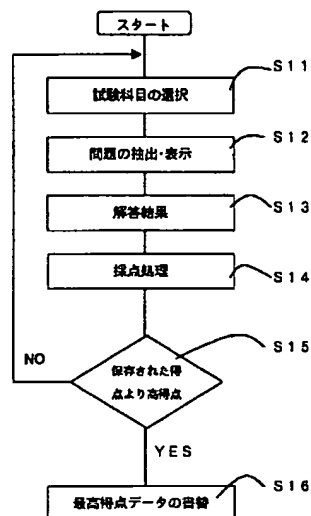
【図2】

学生側登録項目	
個人の特定・自己アピール	1 氏名
	2 性別
	3 E-mail
	4 生年月日
	5 電話番号（携帯可）
	6 個人ホームページ URL
	7 ID
	8 パスワード
	9 取得している資格・語学
	10 自己アピール
志望先	1 職種
	2 希望勤務地
	3 希望最低給与
	4 希望企業規模
学校	1 学校名
	2 学部
	3 学科

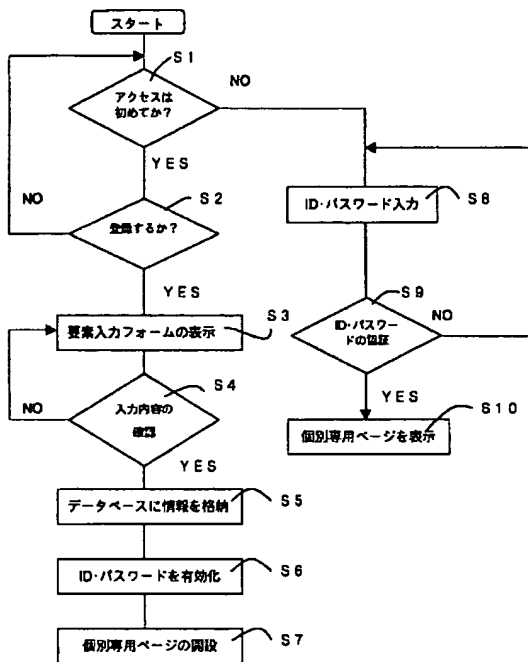
企業側登録項目	
企業の特定・アピール	1 会社名
	2 会社種別
	3 E-mail
	4 設立年月日
	5 電話番号
	6 企業ホームページ URL
	7 ID
	8 パスワード
	9 優遇している資格・語学
	10 企業アピール
募集内容	1 職種
	2 勤務地
	3 最低給与
	4 企業規模

テスト要求得点	1	科目①-要求点数
	2	科目②-要求点数
	3	科目③-要求点数
		⋮

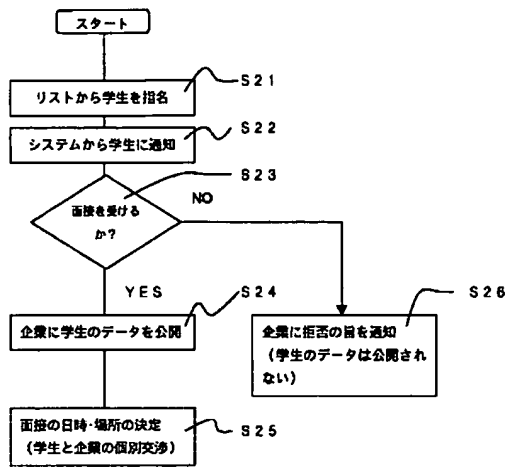
【図5】



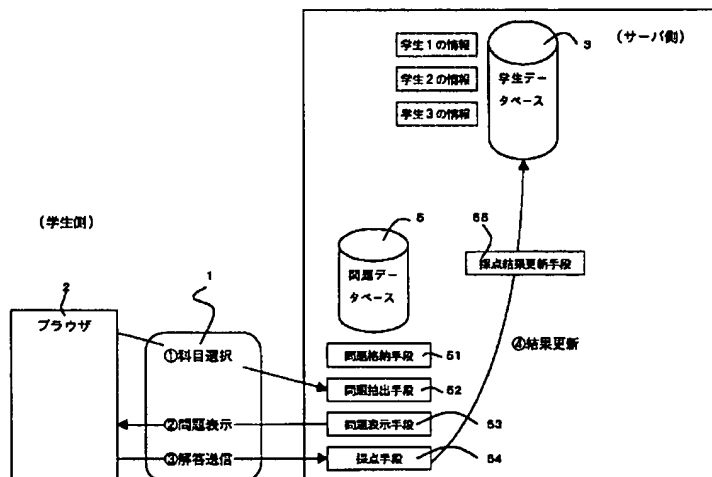
【図3】



【図7】



【図4】



【図6】

